



6月14日(木)、榑協公民館で榑協地区コミュニティ協議会による防災講演会が開催され、日本防災士会鹿児島県支部防災士の吉水康夫氏が講演しました。

受講した約40人は、「いざ災害が起こったとき、冷静に行動できるか不安」「何度も訓練する必要があると感じた」と避難所運営で起こりうる問題点と適切な対応などを学びました。

災害時の避難所運営に係わる
問題点を考えた防災講演会



6月27日(水)、入来小学校体育館で鎌倉能舞台の能楽公演が行われました。

これは、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業」の一環で実現したもので、児童たちは、日本を代表する伝統芸能の、全身を使った迫力ある表現や言い回しなど、能と狂言の魅力を大いに感じる時間を過ごしました。

伝統芸能
能・狂言に感動！



6月15日(金)、太田の浜海浜公園で上甑中学校の生徒13人が海上保安庁串木野海上保安部職員の指導の下、水難訓練を行いました。

海の離岸流(沖方向に戻る強い流れ)と危険生物について講義を受けた後、服を着たまま海で溺れた人を救助する訓練や、ペットボトルで浮く練習などを行いました。生徒からは「初めての海での実技は、難しかったけど新鮮だった」との声が上がりました。

いざというときのために
海で着衣による水難訓練

市内各地から

まちの話題

夏の暑さに負けず
背を伸ばし続けるヒマワリ
(榑協町塔之原)

平成30年7月14日撮影



6月19日(火)、鹿児島市で「平成30年度鹿児島県警察柔道・剣道大会」が開催され、薩摩川内警察署が、柔道部門で58年ぶりに優勝、剣道部門で2年連続3位の成績を収め、6月28日(木)に松永和彦署長と選手10人が市役所を訪れ、優勝の報告を行いました。

岩切市長は、「引き続き切磋琢磨され、市民の安全・安心のために尽力いただきたい」と激励しました。

58年ぶりの優勝を報告



7月2日(月)、薩摩保護区保護司会、川内更生保護女性会、入来地域更生保護女性会が本庁を訪れ、内閣総理大臣および鹿児島県知事からの「社会を明るくする運動」のメッセージを岩切市長に伝達しました。犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、よりよい社会実現のために連携していくことを確認しました。

犯罪や非行のない
安全・安心な社会へ

応援します! 光り輝くゴールド集落

【問合せ先】 = 本庁地域政策課コミュニティ・生涯学習グループ ☎(23)5111(内線4612)

市では、過疎化や高齢化が進む『ゴールド集落(限界集落)』に対し、地域が抱える課題の解決と、市民が住み慣れた地域に安心して住み続けられる地域づくりを推進するため、さまざまな支援事業を展開しています。ゴールド集落活性化事業を活用して、各地域で活動している事例を紹介します。

ゴールド集落とは?

毎年1月1日現在の住民基本台帳に登録された65歳以上の人口割合が50%以上の自治会の区域です。本市独自の呼称で、平成30年度は、157自治会がゴールド集落に該当しています。

水引地区コミュニティ協議会(川内地域)

ゴールド集落を多く抱える水引地区コミュニティ協議会では、ゴールド集落支援地区コミュニティ協議会活動補助金を活用し、河川・道路愛護、唐浜清掃、地区文化祭、三世代交流のグラウンド・ゴルフ大会や餅つき大会、サロンなどを実施しています。高齢者が参加する機会を増やすことで、住民相互の触れ合いと親睦を深め、生きがいづくりや健康づくりにつなげることを目的に、地区全体の活性化に取り組んでいます。



▲ふれあいサロンでのかかし作り



▲まだまだ元気いっぱい!
グラウンド・ゴルフ大会



▲早く食べたいなあ
餅つき大会

副田地区コミュニティ協議会(入来地域)

副田地区コミュニティ協議会では、ゴールド集落支援地区コミュニティ協議会活動補助金を活用し、高齢化が進んだ集落の道路清掃や集落内の花壇作りなど、環境美化に努めています。集落内の花壇では四季折々の花々が出迎え、地区住民の目を楽しませてくれるだけでなく、地区内外の方々の憩いの場となっています。こうした交流の場を増やすことで、地区住民を元気にし、地区全体の活性化につながるよう取り組んでいます。



▲道路清掃や草払いで環境美化に
努めています(立石自治会)



◀春・秋2回の花植えを実施
きれいな花を堪能あれ!
(新町自治会)



▲ベンチを購入!草払い後の交流に役
立っています(本町自治会)

「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供をいただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ投稿ください。